



「Serenade」 有賀廉尚 Studio Life INDEX (愛知)

選評

ミケランジェロのピエタ像を連想させるような、絵画のイメージで表現されている素敵で秀逸な作品です。ドレープが効いた衣装、ポーズ、色調全てがマッチしていて、シンプルなライティングながらも存在感のある作品に仕上げられている点に、作者の卓越した技量を感じられます。特に、背景のブラウン調の色と、お母さんの肌色、ブラウンの椅子、小道具としての本全ての色調が統一され、優しい雰囲気を助長しています。周りの黒縁も絵画調を強調する働きをして画面全体を締め、そしてその中で我が子を抱き上げて額を付け、そして右手人差し指を赤ちゃんの腕に添えている点に愛情の深さを感じます。

※ピエタ像とは、「慈愛」などを意味する「ピエタ」を題材に制作された聖母子像。洗練された美しさや荘厳さをたたえ、ルネサンスが理想とする古典的な美と、自然主義とが融合したミケランジェロ作品を代表する傑作。

喜びの声

このような栄誉あるコンテストで金賞を受賞したこと、とても光栄に思っております。このたびは、大変ありがとうございます。

この受賞は私だけの力ではありません。最大の感謝は、女手ひとつで育ててくれた、私の母へ伝えたいと思います。母は、今で言うシングルマザーでありながら、私を含む兄弟3人を育て上げてくれました。母は、日本舞踊家として今でも現役で活動しています。いわば、クリエイターの大先輩です。私は、母の姿から「生き様としての事」のあり方や「クリエイターの自己表現の厳しさ」「指導者として常に高みを目指すことの大切さ」を学びました。私が今、フォトグラファー（表現者）とコンサル（指導者）という二足のわらじを履きながらも折れることなく頑張っているのは、母の姿を見て育ち、「仕事観」のレベルを上げてくれたからだと思っています。

【これからの取り組み】

今後もこれまで同様フォトスタジオコンサルは続けてまいります。

私の大きな目標は「業界の活性化」です。そのためには、フォトスタジオ従業員の収入アップが必須です。そのためには、

*若手従業員に対するビジネスの勉強を活性化させる

*アシスタントスタッフの技術アップと地位向上

など、これまで優位にならなかった部分の学びの価値をあげていけるように活動していきます。

【最後に】

この世界では、宗教や経済の問題で、プロフォトグラファーに子供の成長記録を撮ってもらうことのできる人や国は、ほんの一握りです。私たちの住む日本は、そんな一握りの国の一つです。日本生まれ、フォトグラファーという仕事を選んだ以上、この文化をより発展させずとずっと残していきたいと思っています。そのためには、この写真業界にいる人たちには、もっともっとビジネスを学んでいただきたいと考えています。ビジネスを学び業界が活性化することで、スタッフが輝き、スタッフが輝いている姿を見せることで、子供たちから「憧れ」を感じてもらえる職業になると考えています。写真業界に才能ある人財が集まることを心から願っています。わたくしもコンサルとして、精いっぱい務めさせていただきます。

(制作ラボ：富士フィルムイメージングシステムズ㈱)

